



## 2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月9日

上場会社名 株式会社プログリット 上場取引所 東  
コード番号 9560 URL http://www.progrit.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理部長 (氏名) 谷内 亮太 E-mail ir@progrit.co.jp  
定時株主総会開催予定日 2024年11月27日 配当支払開始予定日 2024年11月28日  
有価証券報告書提出予定日 2024年11月28日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期の業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	4,453	47.3	824	65.8	817	65.7	610	69.1
2023年8月期	3,023	34.2	497	52.5	492	53.6	360	92.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	49.89	47.83	42.4	25.1	18.5
2023年8月期	31.31	28.69	48.1	23.8	16.4

(注) 1. 当社は、2023年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 当社は、2022年9月29日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年8月の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	3,886	1,796	46.0	143.25
2023年8月期	2,628	1,092	41.5	91.70

(参考) 自己資本 2024年8月期 1,787百万円 2023年8月期 1,091百万円

(注) 当社は、2023年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	1,077	△82	71	3,041
2023年8月期	796	△16	239	1,975

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年8月期	-	0.00	-	13.00	13.00	162	26.6	9.0
2025年8月期(予想)	-	0.00	-	18.00	18.00		28.7	

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	28.0	1,070	29.8	1,072	31.2	784	28.5	62.82

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期	12,480,480株	2023年8月期	11,907,492株
② 期末自己株式数	2024年8月期	368株	2023年8月期	329株
③ 期中平均株式数	2024年8月期	12,228,460株	2023年8月期	11,523,686株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手について）

当社は、2024年10月9日（水）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会のほかにも、当社では個人投資家のみなさま向けに、定期的に事業・業績に関する説明会を開催していきます。この説明会で配付する資料および主な質疑応答は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。今後の開催の予定等については、当社ウェブサイトをご確認ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(持分法損益等) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(1株当たり情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における当社を取り巻く経営環境につきましては、雇用情勢及び所得水準の改善やインバウンド需要復調等が景気の追い風となる一方で、円安影響による原材料価格や光熱費の上昇、人件費の増加等による物価高継続や、不安定な世界情勢や為替変動等の影響により、不透明な状況が続いております。

しかしながら、英語学習市場につきましては、少子高齢化による国内市場の先行きへの懸念を持つ企業の海外進出意欲が衰えておらず、グローバル人材の育成・確保に必要な英語学習への関心が依然として高いことに加え、福利厚生の一環として英語学習を取り入れる企業も出てきていることから、今後も引き続き市場全体が堅調に推移していくものと見ております。

また、生成AIの発展に伴い、英語学習業界も大きく変わることが予想されます。生成AIを如何にうまく活用し、英語学習の効率アップや体験向上を実現できるかが、今後の鍵になってくるものと思われれます。また、当社が参入をいたしましたAI英会話サービス領域においては、AIの精度による差別化は難しいと考えており、UIUXの磨き込みが競争のポイントになってくると想定しております。そして、テクノロジーの変化に関わらず英語学習で成果を出すためには、学習時間の最大化が欠かせない要素であるため、コンサルタントが行う伴走型のサポートの重要性は引き続き高いと考えております。

このような環境の中、当社におきましては、英語コーチングサービス「プログリット」において、集中学習によって飛躍的に英語力を向上させるために、①英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、②顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、③利便性の高い学習アプリによる学習環境、という主に3つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。

また、リスニング力向上に有効なシャドーイングに特化したサブスクリプション型の英語学習サービスである「シャドテン」は引き続き学習コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等による平均継続期間の増加等により、有料課金ユーザー数は堅調に推移しており当社の収益基盤として順調に成長しております。

さらに当事業年度は、2023年12月19日にスピーキングに特化したサービスである「スピフル」、2024年7月1日にAI英会話サービスである「ディアトーク」をローンチいたしました。スピフルは、スピーキング力向上のために必要なトレーニングの口頭英作文（注1）と実践の独り言英会話（注2）の双方を実施することに加え、AI添削による「振り返り」を行うサブスクサービスです。ディアトークは、AI講師が学習者の興味関心や近況を分析し記憶して、英会話の最適な実践の場をオンラインで提供するサブスクサービスです。以上の結果、当事業年度の売上高は4,453,271千円（前事業年度比47.3%増）、営業利益は824,257千円（前事業年度比65.8%増）、経常利益は817,105千円（前事業年度比65.7%増）、当期純利益は610,135千円（前事業年度比69.1%増）となりました。

また、当社は英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(注) 1. 口頭英作文：日本語の文章を瞬時に英語に変換し、発話するトレーニングです。

2. 独り言英会話：自身で選んだお題について1分間英語でスピーチを行うトレーニングです。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における総資産は3,886,418千円となり、前事業年度末に比べ1,258,196千円増加しました。これは主に、現金及び預金が1,066,278千円、繰延税金資産が53,146千円、売掛金が40,718千円、敷金が20,545千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当事業年度末における負債合計は2,089,935千円となり、前事業年度末に比べ554,640千円増加しました。これは主に、契約負債が242,521千円、未払金が112,013千円、賞与引当金が63,851千円、未払費用が62,921千円、未払法人税等が33,767千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産は1,796,483千円となり、前事業年度末に比べ703,555千円増加しました。これは資本金が42,895千円、資本剰余金が42,895千円、利益剰余金が610,135千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.0%（前事業年度末は41.5%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より1,066,278千円増加し、3,041,922千円となりました。当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた現金及び現金同等物は、1,078,078千円（前事業年度は796,938千円の収入）となりました。主な要因といたしましては、税引前当期純利益817,247千円の計上、契約負債の増加242,521千円、未払金の増加129,268千円、法人税の支払額229,296千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した現金及び現金同等物は、83,568千円（前事業年度は16,737千円の支出）となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産の取得による支出55,934千円、敷金の差入による支出27,633千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた現金及び現金同等物は、71,768千円（前事業年度は239,901千円の収入）となりました。要因といたしましては、新株予約権の行使による株式の発行による収入85,375千円、長期借入れによる収入60,000千円、長期借入金の返済による支出74,231千円等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

コロナ禍において急速に浸透したオンライン会議ツールの利用等を通じた英語利用機会の増加やリスキングに対する関心の高さにより、今後も英語学習ニーズは緩やかに回復傾向を継続するものと考えます。また、ビジネスにおいて人を動かすための熱量を自らの言葉で直接伝えることの重要性が失われることは当面なく、ビジネスシーンを意図した英語学習へのニーズは今後も堅調に推移するものと考えております。積極的なマーケティング活動を通じた認知向上・指名検索の獲得数拡大を図ると共に、従業員育成・福利厚生の一環として英語学習の導入を検討する法人企業のニーズを的確に捉えた法人向けの「プログリット (PROGRIT)」の導入拡大を推進いたします。

さらには、高単価な短期集中の英語コーチングサービスでのシェア拡大を目指すとともに、ターゲット顧客層の拡大及び既存顧客の顧客生涯価値の最大化のために、中低価格帯のサービスであるサブスクリプション型の英語学習サービスにも注力いたします。

上記より、当社は2025年8月期の見通しについて、売上高5,700百万円（前事業年度比28.0%増）、営業利益1,070百万円（前事業年度比29.8%増）、経常利益1,072百万円（前事業年度比31.2%増）、当期純利益は784百万円（前事業年度比28.5%増）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成する体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,975,644	3,041,922
売掛金	58,520	99,239
商品	11,707	18,127
貯蔵品	3,149	2,597
前払費用	69,957	66,765
その他	13,144	64,724
流動資産合計	2,132,123	3,293,377
固定資産		
有形固定資産		
建物	180,878	213,956
減価償却累計額	△50,000	△64,724
建物（純額）	130,878	149,231
工具、器具及び備品	17,664	22,333
減価償却累計額	△11,100	△13,011
工具、器具及び備品（純額）	6,564	9,321
有形固定資産合計	137,442	158,553
投資その他の資産		
投資有価証券	7,834	11,267
出資金	20	20
長期前払費用	1,647	354
繰延税金資産	122,307	175,453
敷金	226,046	246,592
その他	800	800
投資その他の資産合計	358,656	434,487
固定資産合計	496,098	593,040
資産合計	2,628,221	3,886,418

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,520	27,517
1年内返済予定の長期借入金	71,826	58,665
未払金	208,975	320,988
未払費用	85,502	148,424
未払法人税等	148,470	182,237
契約負債	695,512	938,034
預り金	21,028	24,195
賞与引当金	119,059	182,911
役員賞与引当金	-	14,600
その他	65,561	92,576
流動負債合計	1,434,458	1,990,151
固定負債		
長期借入金	94,450	93,380
資産除去債務	6,386	6,404
固定負債合計	100,836	99,784
負債合計	1,535,294	2,089,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	280,101	322,997
資本剰余金		
資本準備金	277,101	319,997
資本剰余金合計	277,101	319,997
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	535,105	1,145,240
利益剰余金合計	535,105	1,145,240
自己株式	△349	△401
株主資本合計	1,091,959	1,787,833
新株予約権	967	8,649
純資産合計	1,092,927	1,796,483
負債純資産合計	2,628,221	3,886,418

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,023,643	4,453,271
売上原価	882,687	1,253,423
売上総利益	2,140,955	3,199,847
販売費及び一般管理費	1,643,873	2,375,590
営業利益	497,081	824,257
営業外収益		
ポイント還元収入	1,818	1,878
利子補給金	1,288	969
助成金収入	-	660
印税収入	602	575
その他	508	831
営業外収益合計	4,217	4,915
営業外費用		
寄付金	-	10,000
支払利息	2,251	1,482
その他	6,068	585
営業外費用合計	8,320	12,067
経常利益	492,979	817,105
特別利益		
新株予約権戻入益	0	141
特別利益合計	0	141
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前当期純利益	492,979	817,247
法人税、住民税及び事業税	189,876	260,258
法人税等調整額	△57,738	△53,146
法人税等合計	132,138	207,112
当期純利益	360,841	610,135

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
				繰越利益剰余金					
当期首残高	118,454	115,454	115,454	174,264	174,264	-	408,173	1,453	409,626
当期変動額									
新株の発行	132,405	132,405	132,405				264,811		264,811
新株の発行 (新株予約権の行使)	29,241	29,241	29,241				58,482		58,482
新株予約権の失効								△0	△0
当期純利益				360,841	360,841		360,841		360,841
自己株式の取得						△349	△349		△349
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								△485	△485
当期変動額合計	161,647	161,647	161,647	360,841	360,841	△349	683,786	△485	683,300
当期末残高	280,101	277,101	277,101	535,105	535,105	△349	1,091,959	967	1,092,927

当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
				繰越利益剰余金					
当期首残高	280,101	277,101	277,101	535,105	535,105	△349	1,091,959	967	1,092,927
当期変動額									
新株の発行									
新株の発行 (新株予約権の行使)	42,895	42,895	42,895				85,790		85,790
新株予約権の失効								△141	△141
当期純利益				610,135	610,135		610,135		610,135
自己株式の取得						△52	△52		△52
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								7,823	7,823
当期変動額合計	42,895	42,895	42,895	610,135	610,135	△52	695,873	7,682	703,555
当期末残高	322,997	319,997	319,997	1,145,240	1,145,240	△401	1,787,833	8,649	1,796,483

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	492,979	817,247
減価償却費及びその他の償却費	19,731	24,656
株式報酬費用	-	7,563
寄付金	-	10,000
新株予約権戻入益	-	△141
賞与引当金の増減額 (△は減少)	73,338	63,851
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	14,600
受取利息及び受取配当金	△14	△226
為替差損益 (△は益)	△18	-
支払利息	2,251	1,482
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,391	△40,718
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,265	△5,868
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,113	8,996
未払金の増減額 (△は減少)	113,090	128,574
未払費用の増減額 (△は減少)	26,953	62,921
前払費用の増減額 (△は増加)	△13,460	3,191
契約負債の増減額 (△は減少)	248,455	242,521
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22,411	26,378
その他	△13,483	△47,094
小計	966,222	1,317,936
利息及び配当金の受取額	33	226
利息の支払額	△2,251	△1,482
寄付金の支払額	-	△10,000
法人税等の支払額	△167,065	△229,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	796,938	1,077,384
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△8,000	△4,000
有形固定資産の取得による支出	△1,815	△55,240
敷金の差入による支出	△14,921	△27,633
定期預金の払戻による収入	20,000	-
その他	△12,000	4,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,737	△82,873
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△10,000	-
長期借入れによる収入	30,000	60,000
長期借入金の返済による支出	△102,558	△74,231
株式の発行による収入	264,811	-
自己株式の取得による支出	△349	△52
新株予約権の行使による株式の発行による収入	57,997	85,375
新株予約権の発行による収入	-	676
財務活動によるキャッシュ・フロー	239,901	71,768
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,020,102	1,066,278
現金及び現金同等物の期首残高	955,541	1,975,644
現金及び現金同等物の期末残高	1,975,644	3,041,922

(5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(持分法損益等)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	91.70円	143.25円
1株当たり当期純利益	31.31円	49.89円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	28.69円	47.83円

- (注) 1. 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 当社は、2022年9月29日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年8月の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益 (千円)	360,841	610,135
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	360,841	610,135
普通株式の期中平均株式数 (株)	11,523,686	12,228,460
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	1,051,581	527,683
(うち新株予約権 (株))	(1,051,581)	(527,683)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。